

工事店さまへのお願い

この説明書は必ずお客様にお渡しください。

# TOTO

## オーバーヘッドシャワー

TBWO1005J型

商品の機能が十分に発揮されるように、この施工・取扱説明書の内容に沿って正しく取り付けてください。取り付け後は、お客様にご使用方法を十分にご説明ください。この施工・取扱説明書は大切に保管しておいてください。

### 1 安全上の注意 (安全のために必ずお守りください)

取り付け前に、この「安全上の注意」をよくお読みのうえ、正しく取り付けてください。

●この説明書では商品を安全に正しく取り付けいただき、お客様や他の人々への危害や財産への損害を未然に防止するために、いろいろな表示をしています。その表示と意味は次のようになっています。

●お守りいただく内容の種類を、次の絵表示で区分し、説明しています。



警告

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、人が死亡または重傷を負う可能性が想定される内容を示しています。



注意

この表示の欄の内容を無視して誤った取り扱いをすると、傷害または物的損害が発生する可能性があることを示しています。



○は、してはいけない「禁止」内容です。左図は、「分解禁止」を示します。



●は、必ず実行していただく「強制」内容です。左図は、「必ず実行」を示します。

### 警告



禁止

シャワーには熱湯(60℃より高温)を通さない

シャワーヘッドが破損して、やけど・けがをするおそれがあります。シャワーを浴びる場合は、安全のため、45℃以下の適温でご使用ください。



分解禁止

この説明書に記載された項目以外は分解・改造しない

破損して、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

湯水を使う前に、必ず手で適温であることを確かめる

高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。また、使い始めに、配管内にたまった冷たい水が出ることがあります。



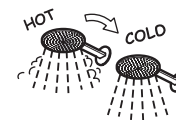
### 警告



必ず実行

高温の湯を使ったあとは、しばらく水を流す

次に使用の際、水栓内に残っている高温の湯が出て、やけどをするおそれがあります。



定期的(年2回以上)に、配管まわりの水漏れや、ガタツキがないか確認する

劣化・摩耗などで部品が破損し、やけど・けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



### 注意



禁止

強い力や衝撃を与えない

破損して、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



ぶら下がったり、引っ張ったり、回したりしない  
外れてけがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



必ず実行

取り付け完了後、オーバーヘッドシャワーにガタツキがないことを確認する

オーバーヘッドシャワーにガタツキがあると、オーバーヘッドシャワーが外れたり、取付面が壊れたりして、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。



長時間使用しないときは、止水栓または配管部の元栓を閉める

水漏れなど予想しない事故の原因になります。



## 2

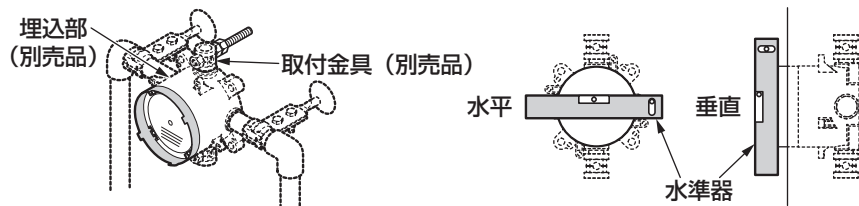
## 仕様

給水・給湯圧力 (水栓本体側)	最低必要水圧	0.15MPa (流動時)
	最高水圧	0.75MPa (静止時)
使用最高温度		60℃以下
使用可能水質		水道水および飲用可能な井戸水
使用環境温度		1~40℃
用途		パブリックおよび一般住宅浴室用

## 3

## 取り付け前に

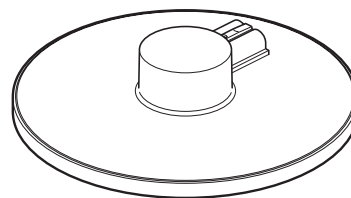
- 本商品(オーバーヘッドシャワー)の施工には、埋込部(TBN01002型)が必要です。
- 埋込部は必ず取付金具(埋込部に同梱)を使用して、本商品の施工前にあらかじめ壁面に施工してください。
- 本商品の施工前に、あらかじめ施工された埋込部にガタツキがないこと、埋込部の上下、左右が垂直、水平であることを水準器を使用して確認してください。  
埋込部が正しく施工されていない場合、オーバーヘッドシャワーがガタついたり、傾くなど、正しく施工されないことがあります。
- やけど防止のため、給湯器の給湯温度は60℃を超えない設定をしてください。
- 梱包前に通水検査をしていますので、商品内に水が残っている可能性があります。商品には問題ありません。



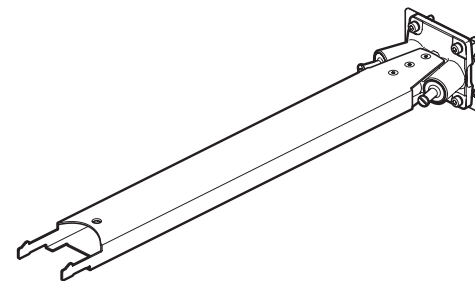
## 4

## 部品の確認

次の部品があることを確認してください。



シャワーヘッド



連結管



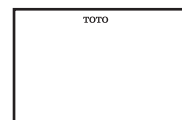
プレート



樹脂板



吐水口開閉工具



施工・取扱説明書



なべ小ねじ  
(M4×53)  
(4本)



皿小ねじ  
(六角穴付M4×16)



連結管仮固定用六角棒レンチ  
(対辺：4mm ストレート形状)

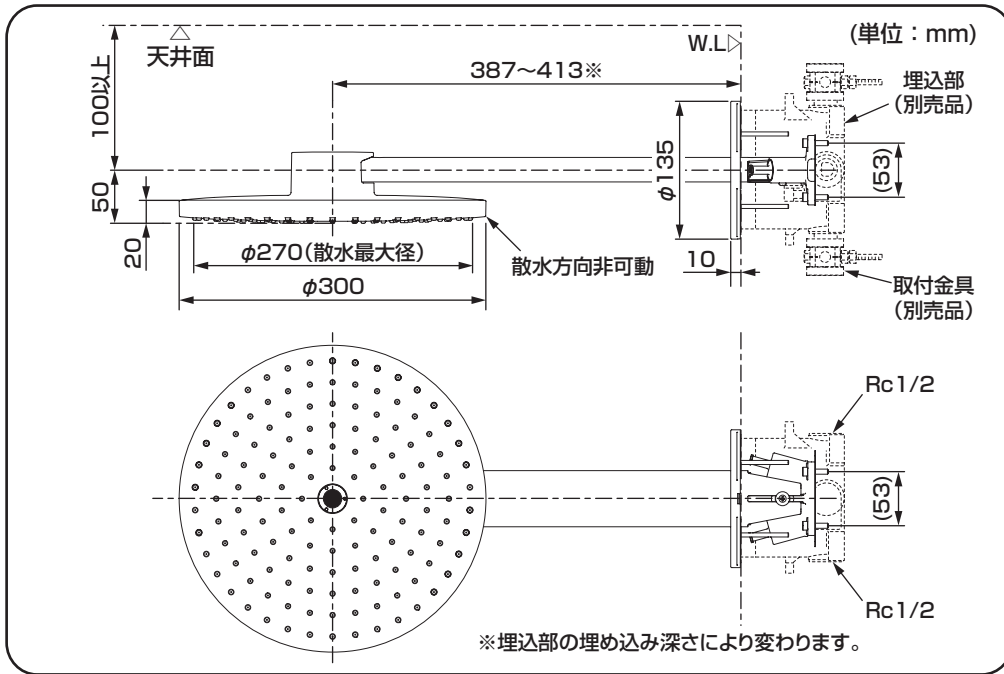


六角棒レンチ  
(対辺：4mm)

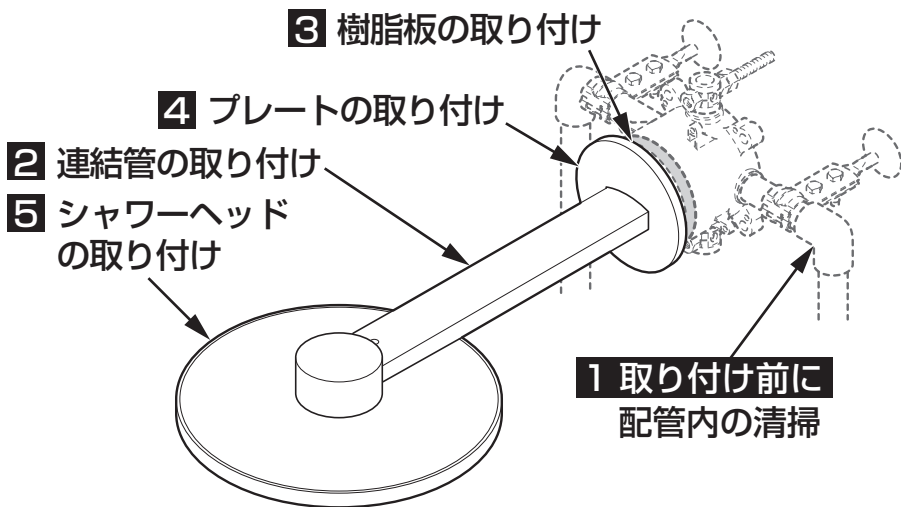


六角棒レンチ  
(対辺：2.5mm)

# 5 完成図



# 6-1 施工手順



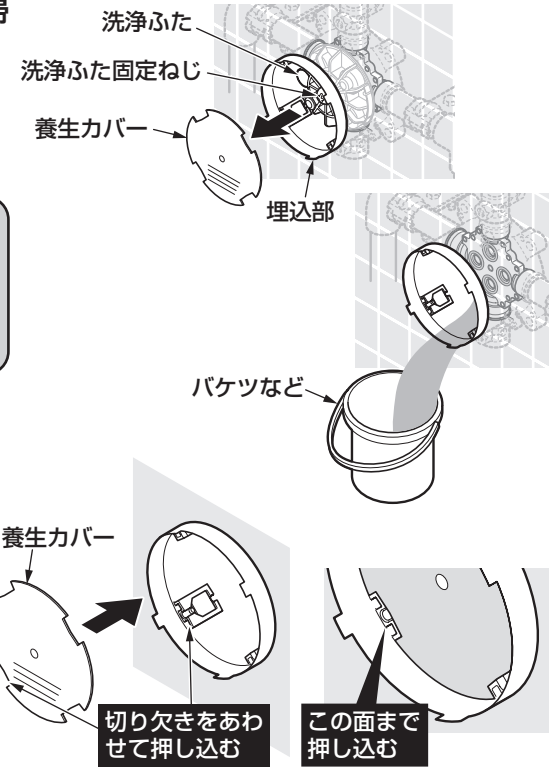
# 6-2

## 1 取り付け前に 配管内の清掃

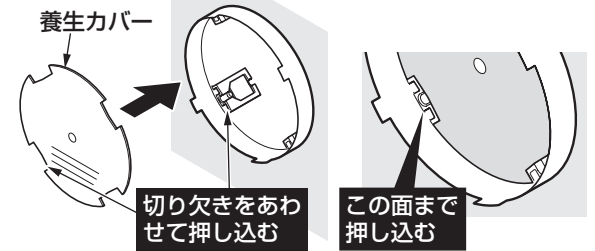
①埋込部の養生カバーと洗浄ふたを取り外し、埋込部に通水して、配管内のごみ、砂などを完全に洗い流す。

### 注意

養生カバーと洗浄ふたは捨てないでください。  
配管内の清掃後、埋込部に挿入してください。



②養生カバー、洗浄ふたを埋込部に取り付ける。

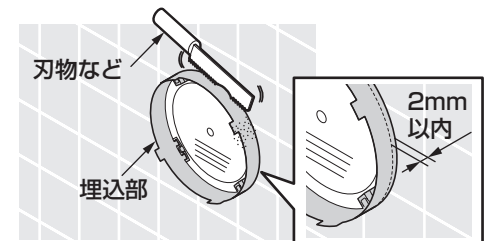


## 2-1 連結管の取り付け

①埋込部の樹脂製カバーを壁仕上げ面からの出代2mm以内で切断する。仕上げ面より凹にならないこと。

### 注意

- 樹脂製カバー切断は、刃物(パイプソーなど)で行ってください。折る・曲げるをした場合、樹脂製カバーが破損するおそれがあります。
- 樹脂製カバー切断時、仕上げ面に傷をつけないよう、養生をしてください。

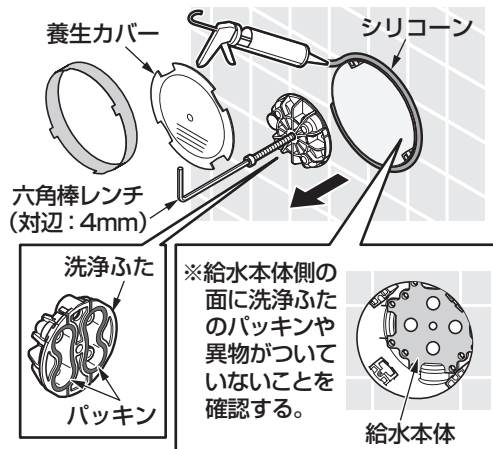


## 2-2 連結管の取り付け(つづき)

- ②仕上げ壁と埋込部のすき間に、シリコンを塗布し防水処理を行う。  
養生カバーを外す。  
洗浄ふたを外す。

**注意**

※給水本体に洗浄ふたのパッキンや異物がついていないことを確認する。



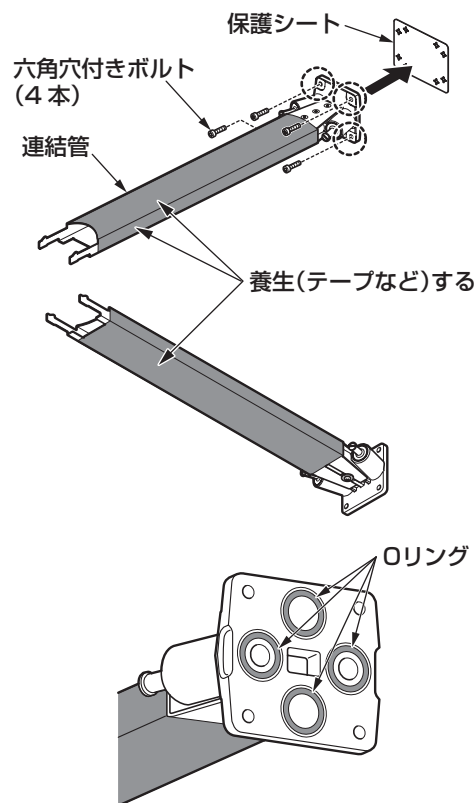
※給水本体側の面に洗浄ふたのパッキンや異物がついていないことを確認する。

- ③防傷のため連結管を養生(テープなど)する。

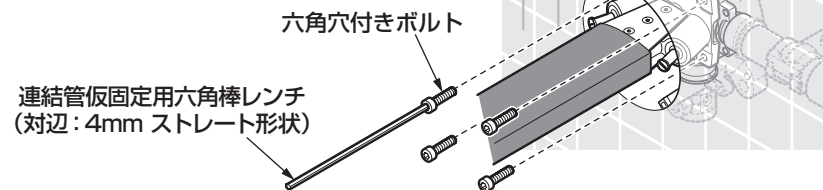
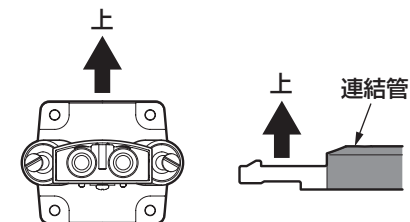
- ④連結管の保護シートを外し、六角穴付きボルトを、連結管から取り外す。  
Oリングが外れていないことを確認する。

**注意**

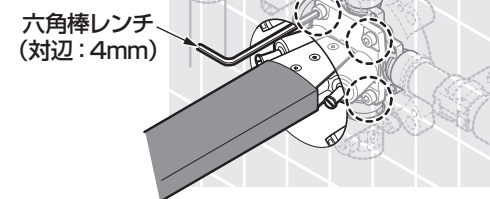
六角穴付きボルトは捨てないでください。連結管の固定に使用します。



- ⑤連結管を取り付ける。  
連結管仮固定用六角棒レンチを使用して、六角穴付きボルトを連結管のねじ穴に挿入し、六角穴付きボルトが回らなくなるまで、連結管仮固定用六角棒レンチで締め付けて(4本)、連結管を仮固定する。



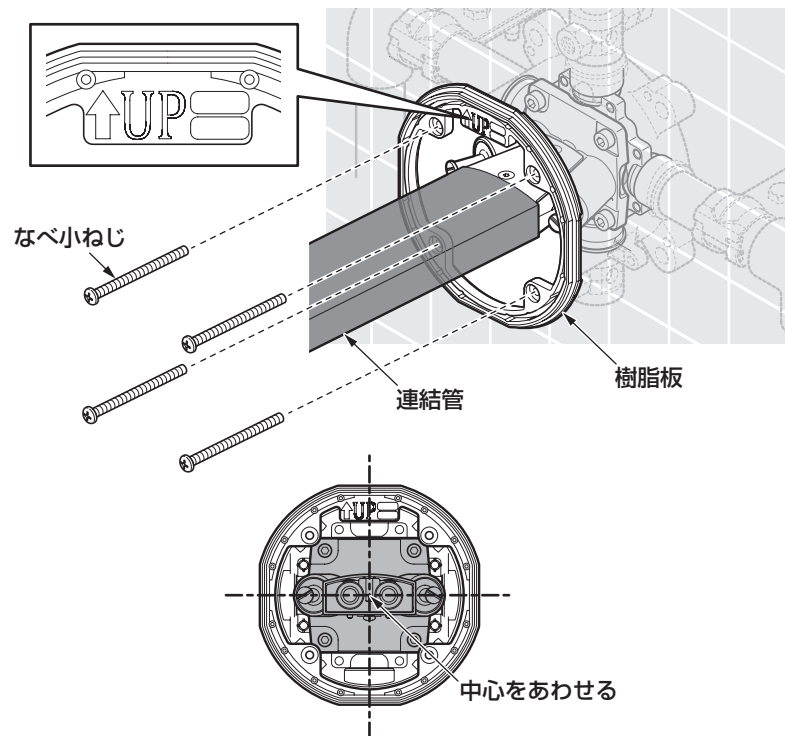
- ⑥六角棒レンチを用いて強く締め込み、連結管が動かないように十分に固定する。

**注意**

連結管はガタツキ、ゆるみがないよう、埋込部に確実に固定してください。  
連結管が確実に固定されていない場合、オーバーヘッドシャワーが外れて、けがをしたり、水漏れにより家財などをめらす財産損害発生のおそれがあります。

### 3 樹脂板の取り付け

“UP” が上になるように樹脂板を埋込部になべ小ねじで固定する。



#### 注意

- 樹脂板の中心を、連結管の中心にあわせて固定してください。
- ねじを強く締め過ぎると、樹脂板が変形しますので、注意してください。
- プラスドライバーで締め込んでください。  
電動工具は使用しないでください。

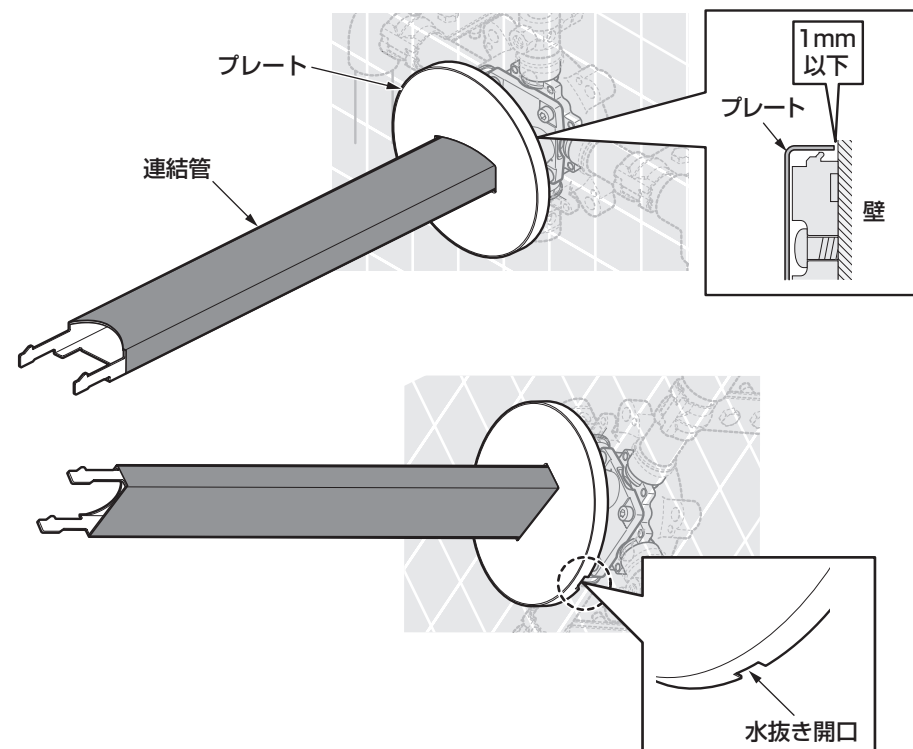
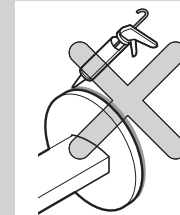
### 4 プレートの取り付け

①水抜き開口が下側にあることを確認する。

②プレートと壁とのすき間が1mm以下になるよう、プレートを押し込む。

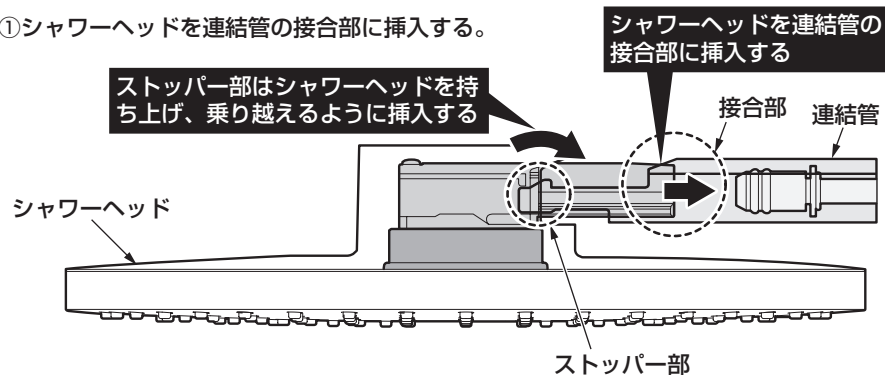
#### 注意

プレート周辺へのシリコンの塗布はしないでください。  
プレート内の排水ができなくなります。



## 5 シャワーヘッドの取り付け

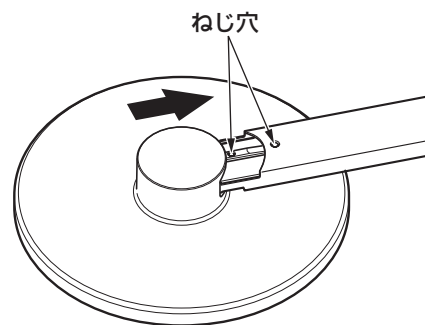
①シャワーヘッドを連結管の接合部に挿入する。



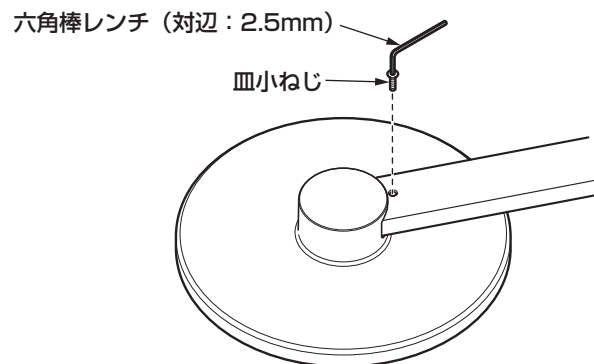
## 注意

連結管の先端でシャワーヘッドのカバーを傷つけないよう、連結管の先端がカバーに接触しないように挿入してください。

②シャワーヘッドと連結管のねじ穴が合うまでシャワーヘッドを連結管に押し込む。

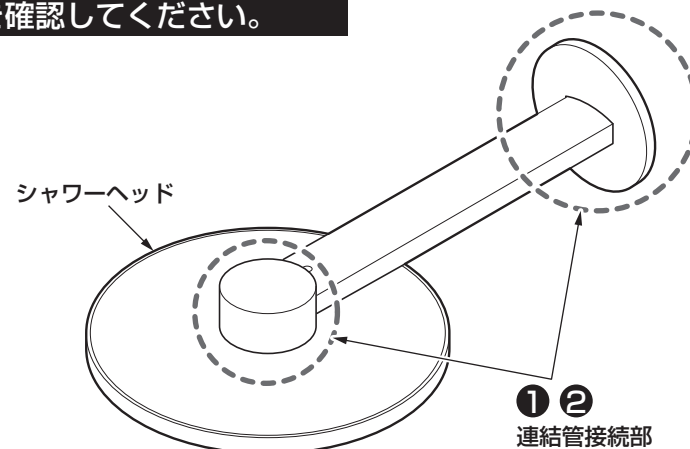


③皿小ねじで固定する。



## 点検項目

取り付けが完了したあと、次の項目を確認してください。



## ガタツキの確認

ガタツキがないか確認してください。

① 連結管接続部のガタツキはないですか？

- 6-2 - ②「連結管の取り付け」参照
- 6-5 - ⑤「シャワーヘッドの取り付け」参照

## 水漏れの確認

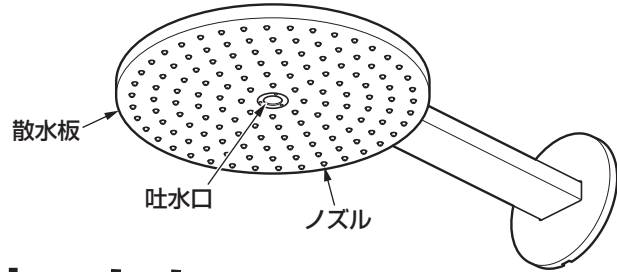
水漏れがないか確認してください。

② 連結管接続部の水漏れはないですか？

- 6-2 - ②「連結管の取り付け」参照
- 6-5 - ⑤「シャワーヘッドの取り付け」参照

# 8

## 各部のなまえ

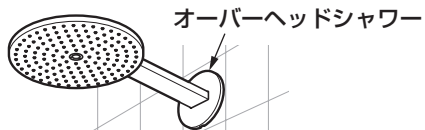


# 9

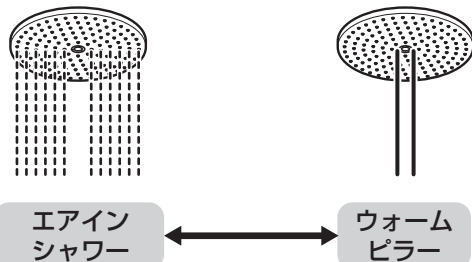
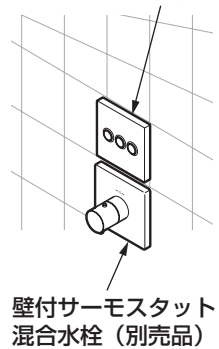
## 使いかた

### オーバーヘッドシャワーの使いかた

オーバーヘッドシャワーとは別に設置した切替バルブにより、エアインシャワーとウォームピラーの2つに切り替えられます。



切替バルブ  
セット例：タッチ切替3way（別売品）



節水しながらも、たっぷりのやさしい浴び心地が体感できます。

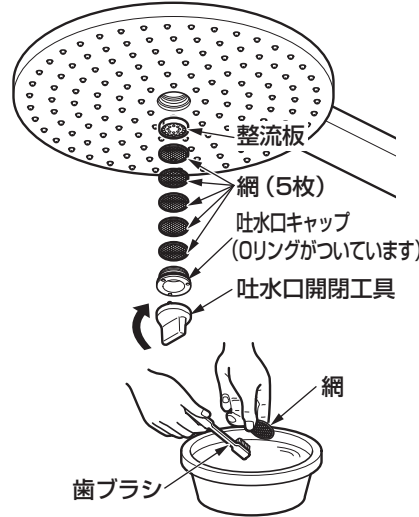
体に沿って流れる湯に柔らかく包まれるような浴び心地。高い温まり効果により、湯船につかるようなリラックス感を演出します。

# 10-1

## 日ごろのお手入れ

十分な機能を発揮させるため、また、美しく衛生的にご使用いただくために日ごろのお手入れをお願いいたします。

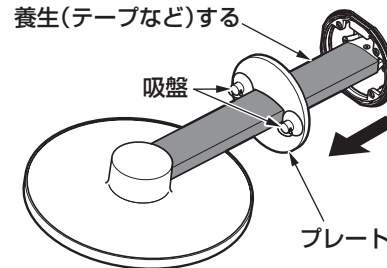
### 吐水口のお手入れ



1. 吐水口キャップを付属の吐水口開閉工具で回して外す。
2. 吐水口キャップや網に詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。
3. 吐水口キャップを取り付ける。

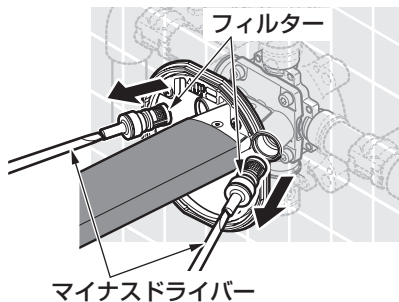
分解するときには、部品を紛失しないように注意してください。

### フィルターのお手入れ



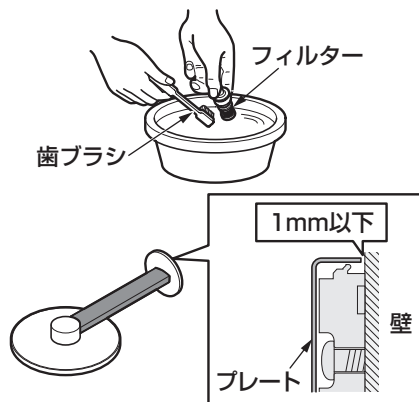
1. 切替バルブなどで水を止める。
2. プレートを外す。

※プレートを外す際、連結管に傷がつかないようにテープなどで養生をしてください。  
※プレートを外す際、吸盤（2個）を使用すると外しやすくなります。



3. マイナスドライバーなどでゆるめてフィルターを取り出す。

※フィルターは、左右2カ所あります。  
※フィルター部分が熱くないことを確認してください。



4. フィルターに詰まったごみや汚れを歯ブラシなどで取り除く。
5. フィルターを取り付ける。
6. プレートと壁のすき間が1mm以下になるように、プレートを押し込んでください。

プレートを取り付けたあと養生を外してください。

## 布などを使用したお手入れ

### ●軽い汚れの場合

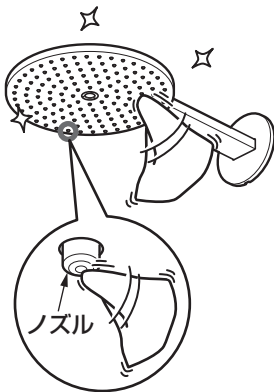
水またはぬるま湯に浸した布をよく絞って汚れをふき取ってください。

### ●ひどい汚れの場合

適量に薄めた浴室用中性洗剤を含ませた布で汚れをふき取ったあと、水洗いし、からぶきしてください。

### ●流線が乱れる場合

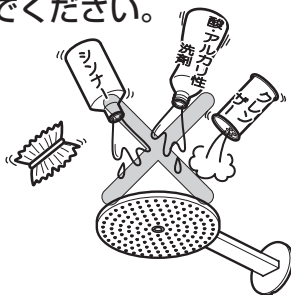
ノズルが詰まると流線が乱れる場合があります。水またはぬるま湯に浸した柔らかい布をよく絞ってノズルの汚れを軽くふき取ってください。強い力でふいたり、こすった場合、ノズルが破損したり、変形してさらに流線が乱れるおそれがありますのでご注意ください。



### お願い

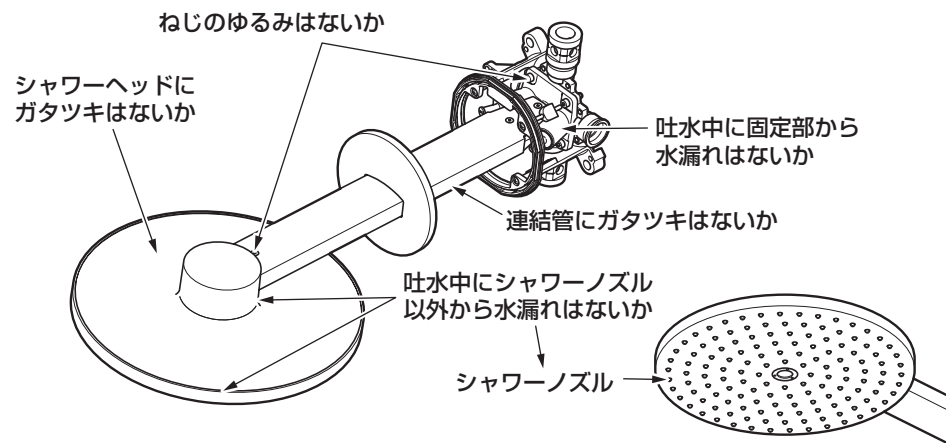
水栓が破損するおそれがあるものは使用しないでください。

- ・酸性洗剤、塩素系漂白剤、TOTO蛇口まわりのクリーナー以外のアルカリ性洗剤  
水栓の表面が変色したり、樹脂製部品が破損するおそれがあります。
- ・シンナー、ベンジンなどの溶剤  
ゴムや樹脂製部品が破損するおそれがあります。
- ・クレンザー、磨き粉など、粗い粒子を含んだ洗剤
- ・ナイロンたわし、たわし、ブラシなど  
水栓の表面が傷つきます。



## 定期的な点検

安全・快適にご使用いただくために、定期的(年2回以上)に、以下の点検をお願いします。

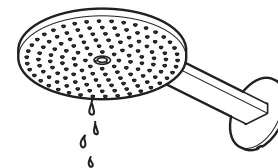


### 警告

上記の点検を怠ると、水漏れして家財などをめらす財産損害が発生したり、部品が破損しシャワーヘッドが落下してけがをするなど、重大事故のおそれがあります。異常がある場合はお求めの取付店・販売店またはTOTOメンテナンス(株)へ修理をご依頼ください。

## 使用上の注意

- ・シャワーの水を止めたあと、シャワーからしばらく水が垂れることがあります。これはシャワーヘッド内部の残留水が排出されるものです。数分間止まらないときは、ハンドルが完全に閉まっているか確認してください。
- ・空気を混入するためシャワーヘッド内部で吸気音が発生しますが故障ではありません。



※この施工・取扱説明書などは、必ずお客様にお渡しください。